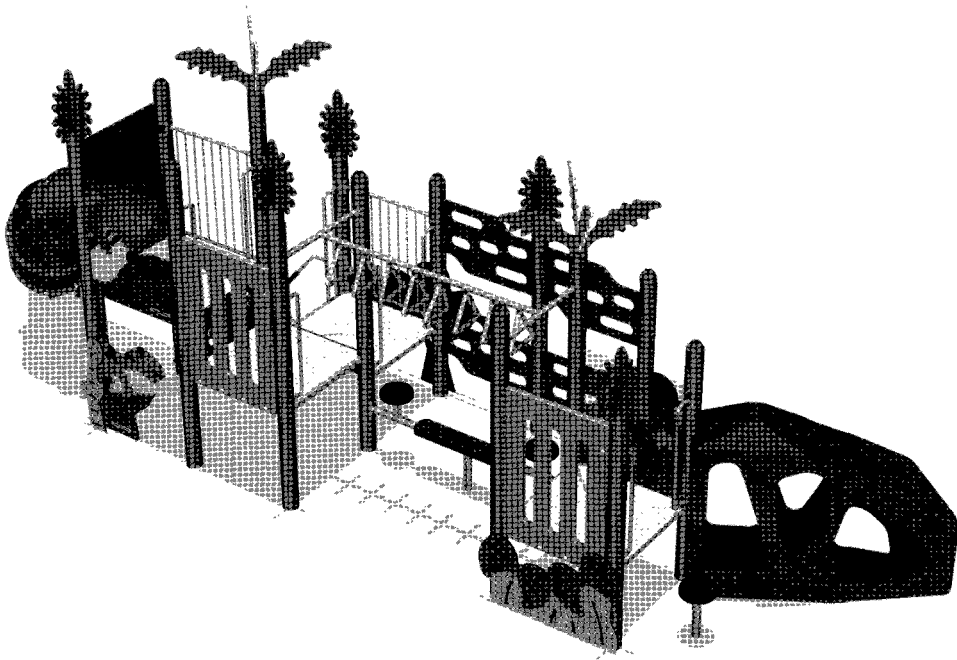


第 46 回学会大会

講 話



公園や遊園地などによくある、すべり台は、一般的には階段を登って、そして斜めになった面をすべるといふ、一口に言えば簡単なあそびですが、登るときには、筋力やバランス感覚が鍛えられます。ほかにも、歌に合わせてテンポ良く登っていけばリズム感が育まれます。また、すべる際には、体勢を維持するための筋力やバランス感覚が育つだけでなく、からだの速い速度で動く中で、とりまく状況を確認して、からだを動かす力が身につけてきます。あそび方を工夫することによって、様々な体力アップが期待できるのです。

子ども環境の未来を考えたとき、遊具の役割は楽しい経験を積み重ねるだけでなく、あそびを通して体力を向上させる重要な役割があることに注目しています。単なる筋力アップにとどまらず、幅広い体力について学術的な面から考え、あそびを子どもたちに提供することが、まわりの大人たちの役目だと考えました。

そして、このたび、幼児体育指導の最前線で活躍されている早稲田大学・前橋 明教授とのコラボレーションにより、今回、新たな遊具ディノワールドが誕生致しました。「あそび」に全力で取り組むために必要な、子どもが健やかに成長できる環境とは何か、今一度考え直す必要があると思います。

